

2022年 プログラム近況報告

ミャンマー タバウン地域開発プログラム

World Vision

この子を救う。未来を救う。

地域を代表し、皆さまに感謝いたします



皆さまの限りない優しさとお支援のおかげで、この地域はより強くなり、子どもたちはより明るい未来を手に入れることができます。心から感謝いたします。

モー・ネー・ワー
タバウン 地域開発プログラムマネージャー

362

新たに362世帯にトイレが設置され、より多くの子どもたちが病気や下痢から守られるようになりました。

110

地域で110の貯蓄グループが、資金を活用した地域のための基金を作り、地域の中でサポートを必要としている住民や子どもたちを支援しています。

ミャンマー：日本 出典：国連開発計画（UNDP）2020年

5歳未満児死亡数
(出生1,000人あたり)



46.2



2.5

平均就学年数



5



12.8

1,000人あたりの18歳未満の女性の出生数



28.5



3.8



「以前は十分な知識も収入もなく、子どもを養っていくのが大変でした。ワールド・ビジョンの農業研修に参加して、土地の有効活用の仕方を学び、今では子どもを学校に通わせることができるようになりました」

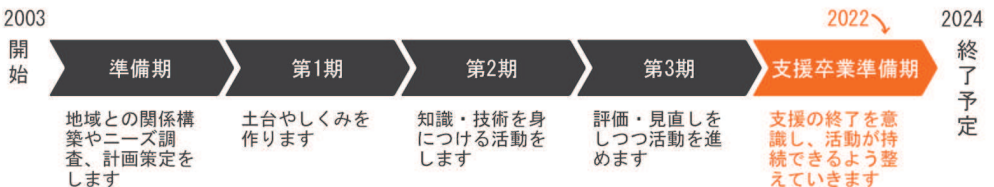
キョウさん、父親

716

地域に住む716人の保護者が就学前教育に関する研修に参加し、幼い子どもたちが家庭でも学び成長できるようにサポートする方法を学びました。

3

地域の3つの子どもグループが子どもへの暴力をなくすための啓発活動を行い、子どもたちにとって有害な行いや慣行に対して、子どもたち自身で声を上げようと呼びかけました。



支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「友達にも貯金をすすめてあげたいです」



「僕は、お金を貯めようと自分で2年間くらい頑張りましたが、うまく貯めることができませんでした」両親、兄弟と暮らすカントくん（14歳）は話します。

そこでカントくんは、チャイルド・スポンサーの皆さまのご支援によって運営されている、子どもたちの貯蓄グループに参加しました。貯蓄グループではお金の管理方法を学び、将来のために貯金できるようになりました。「最初は、貯めたお金で、卵を産むアヒルを買いました。子豚も買って育てて、売ることができました。売った利益で、子豚をもう一匹と、家を建てるための木材を買うことができました」

「今年の目標は、あと2匹の子豚を買って、家を完成させるための木材を全て買うことです。友人たちにも貯金をするようにすすめたいです。そうすれば、友達も自分の目標をかなえられると思います」

ご支援により、チャイルドと家族の生活に
大きな変化がもたらされています

ミャンマー タバウン地域開発プログラム (MYA-176922)

2021年度 (2020年10月1日～2021年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	32,757,536
前期からの繰越額	424,341
プログラム支援額合計	33,181,877

プログラム支出額	
経済開発プロジェクト	7,027,930
教育プロジェクト	6,943,035
保健衛生プロジェクト	5,340,991
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	12,193,233
プログラム支出額合計	31,505,189
次期繰越額	1,676,688

活動内容

⑤ 経済開発プロジェクト

- ・ 脆弱世帯への食料支援
- ・ 住民主導の家庭菜園・家畜飼育に対する支援
- ・ 貯蓄グループ活動支援

⑧ 教育プロジェクト

- ・ 3-5歳児と保護者向けの家庭学習支援
- ・ 小中高生向けオンライン学習の機会創出支援

④ 保健衛生プロジェクト

- ・ 新型コロナウイルス感染予防啓発活動
- ・ 栄養不良児への支援

① スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト

- ・ チャイルドの定期的なモニタリング
- ・ チャイルドを含む脆弱世帯への食料配布



お問い合わせ先
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351



Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp

プログラム番号 : MYA-176922